

分野：自然への愛着

(春の自然観察と昆虫観察)

環境アドバイザー

荒木 三郎

対象

つばさ北小学校 3年(21人)

所要時間



2時間

場所

荒川太郎右衛門自然再生地・中池

実施時期

令和3年5月12日

概要

- ・今年度初めての校外学習です。初夏の自然観察と体験活動①として昆虫採集を行い、捕獲した昆虫の解説を行う。
- ・体験活動②として自然を守る体験、外来種(セイタカアワダチソウ)を見つけて抜きとる作業

プログラムの
ねらい

- ・学校の近くに荒川太郎右衛門自然再生地、素晴らしい自然豊かな場所を知ってもらい、自然観察や昆虫採集を通じて自然の大切さを学習する。
- ・外来種が身近にあること、在来種を守ることを理解できれば素晴らしいです。
- ・子供たちが進んでボランティア活動に参加する足掛けになればいいです。

プログラムの内容

1 体験活動 ①(50分)

自然観察、虫取り網を使って昆虫採集と解説
水飲み休憩含む

2 体験活動 ②(50分)

外来種の分け方、セイタカアワダチソウ
外来種をなぜ抜くのか解説
セイタカアワダチソウは根を抜かないといけない植物です。
他の外来種の解説オオブタクサ・セリバヒエンソウ
水のみ休憩含む
昨年移植した植物の観察(写真)



3 まとめ(20分)

受講者の反応

- ・川島町にも荒川太郎右衛門自然再生地のような自然があることが理解された。
- ・昆虫採集では競争で昆虫を捕獲強いました。昆虫少年多い。
- ・外来草本抜きは汗だくなって作業していました。
- ・事前に捕獲していたヒバカリを全員で触り感触を楽しんでいたのが印象的でした。ヘビが好きなんですね、生体観察が一番盛り上がります。

環境学習の様子（写真） ※表面に写真を掲載している場合は不要



昆虫採集・昆虫解説



外来種の抜き取り・セイタカアワダチソウ